

原水爆禁止 2020 年世界大会 知事メッセージ

「原水爆禁止 2020 年世界大会」の開催に当たり、御尽力された実行委員会の皆様を始め、関係の皆様には深く敬意を表します。

また、皆様には、東日本大震災以来、様々な御支援を頂いており、改めて厚く御礼を申し上げます。

福島県では、平成 12 年 7 月の「非核平和福島県宣言」により、核廃絶と世界平和を希求していくことを決議したところであり、今後も皆様や世界の国々と手を携えながら、県民と共に世界の恒久平和に向かって歩みを進めてまいる考えであります。

震災と原発事故から 9 年余が経過いたしました。今もなお、多くの方々が避難生活を続けているほか、避難地域の復興や被災者の生活再建、廃炉・汚染水対策など、福島県は様々な課題を抱えております。

昨年 7 月、東京電力による福島第二原発の廃炉が正式に決定いたしました。引き続き、県民の強い思いである県内原発の廃炉に向けた取組が着実に進むよう国と東京電力に求めるとともに、再生可能エネルギーの飛躍的な導入と関連産業の育成・集積により、福島県を「再生可能エネルギー先駆けの地」とし、「原子力に依存しない安全・安心で持続可能な社会」が実現するよう、しっかりと取り組んでまいりますので、皆様には、今後とも御支援、御協力をお願い申し上げます。

結びに、本大会を契機として、核兵器廃絶に向けた取組が一層進展することを期待いたしますとともに、皆様の御活躍、御健勝を心からお祈り申し上げ、挨拶とします。

福島県知事

内堀 雅雄

核兵器の廃絶と世界平和の実現に向け、原水爆禁止二〇二〇年世界大会が実り多きものとなりますようお祈りいたします。

相馬市長 立谷 秀清

原水爆禁止 2020 年世界大会メッセージ

子どもたちの未来のため、核廃絶を心から願っております。世界大会の成功をご祈念申し上げます。

令和 2 年 7 月

福島県三春町長 坂 本 浩 之